

# 改革フォーラム

松井 雅宏・越川 慶一  
首藤 孝治・牧田 俊之



**松井雅宏議員**



一般質問動画



**牧田俊之議員**



一般質問動画



**首藤孝治議員**



一般質問動画



**越川慶一議員**



一般質問動画

**【特別支援学校の開設】**令和3年4月に開校する特別支援学校の開設に向けた保護者に対する説明会や入学転入の手続き、開校スケジュールを確認した上で知的障がいに加え肢体不自由や医療的ケアが必要な重複障がいのある児童生徒の対応について質問。肢体不自由の児童・生徒の移動には欠かせないエレベーターの狭隘<sup>きょうあい</sup>について指摘し運用面での説明と検討を道教委に求めるべきと提言しました。

**【見守り強化の補助金】**国の第二次補正予算で成立した子ども食堂などに対する児童虐待の見守り強化の補助金(10%)を本市の支援を必要とする子ども見守り強化に活用することを質問しました。担当部から既存の仕組みの中で機能は果たしているとの見解が示されたため、市長に対し見守り機会の拡充の観点から本制度の調査を進め、再考を求めました。

**【053大作戦ステージ5】**新型コロナウイルスの影響により「こみ減量」「リサイクル推進」「環境美化」に関連した事業が実施できない状況を指摘するとともに、レジ袋の有料化後のポイ捨ても減少しない現状から監視カメラの設置を提案し、慎重に検討すると答弁がありました。また、コロナ禍での事業として、オンラインによる手作りマスク紹介や出前講座のリモート開催、環境PR大使の任命、感染防止を図り「053フェスタ」の開催などを計画実施していると答弁がありました。

**【電子申請】**コロナ禍で電子申請が注目される中、7月からマイナンバーカードの出張申請サポートを始め利用は好調であるものの普及が進んでいない状況を指摘。国は今後、健康保健証や運転免許証の機能追加も検討しているため、積極的な取り組みを要望しました。

**【コロナ禍における次年度予算の考え方】**コロナ禍により経済情勢が下降し、市内事業者も大打撃を受けており、現時点においても民間工事が軒並み延期や中止という状況が後を絶たない状態です。ここでさらに次年度の公共事業工事が大幅な縮小となれば市内事業者が事業継続困難に追い込まれる可能性もあることから、次年度予算については慎重な計画が必要であることを指摘し、市は「地場産業や地域経済を守るためには公共事業費を確保していくことが重要と考えており、ほかの事業費とのバランスを取りながら地域経済が疲弊することがないようしっかりと予算確保に努めてまいりたい」と答弁がありました。その他にeg a oビル跡地を含めた街づくり、CAPの取り組み状況、イベント開催時の補助制度についても質問しました。

**【地域公共交通計画】**今後の人口減少時代を見据えた地域公共交通の取り組みは重要な課題であり、公共交通サービスを追求しつつ大胆な見直しも必要との考えで質問し、「将来の持続可能な公共交通ネットワーク形成を目標に、重複するバス路線網の再編による運行効率の向上とバスロケーションシステムやキャッシュレス決済の導入による利便性向上が大きな柱になる」と答弁がありました。

**【立地適正化計画】**今後の街づくりに「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」の概念は重要であり早急に立地適正化計画の策定を提案し、「計画策定の必要性は認識しているが、コンパクトシティの形成には都市計画、公共交通、医療福祉、教育、防災、子育てなど街づくりと密接に関連するため、全体像を描き地域ごと個別の検討を進める」と答弁がありました。